



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 田中精密工業株式会社

コード番号 7218 URL <http://www.tanasei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 金森 俊幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 沖 健司 TEL 076-469-9107

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	21,075	15.7	804	-	896	-	206	-
2021年3月期第3四半期	18,214	△25.8	△390	-	△321	-	△118	-

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 425百万円 (-%) 2021年3月期第3四半期 △106百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	21.18	-
2021年3月期第3四半期	△12.16	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	36,382	21,286	42.8	1,594.45
2021年3月期	36,898	21,154	41.2	1,555.77

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 15,563百万円 2021年3月期 15,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	3.00	-	-	-
2022年3月期 (予想)	-	-	-	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,600	13.7	1,400	-	1,500	-	500	-	51.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	9,763,600株	2021年3月期	9,763,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,855株	2021年3月期	2,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	9,760,745株	2021年3月期3Q	9,760,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済の悪化が、ワクチンの普及により、回復傾向となつてはいるものの、新たな変異株発生による感染再拡大等の懸念材料により、先行き不透明な状況が続いております。その影響から、取引先である自動車業界は、景気回復傾向により全世界において販売台数は回復傾向ではあるものの、半導体不足等による顧客における生産調整等も重なり、前年同期までの回復には至りませんでした。

このような環境の中、売上高につきましては、半導体不足等による顧客における生産調整等はありませんでしたが、景気回復等による受注増加により、21,075百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。損益につきましては、増収効果及び総費用削減により、営業利益804百万円（前年同四半期は営業損失390百万円）、経常利益896百万円（前年同四半期は経常損失321百万円）となりました。また、構造改革費用を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は206百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失118百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては、景気回復による受注増加及び新規V6車種のエンジン部品や車載発電用エンジン部品の新規立上げにより10,958百万円（前年同四半期比21.3%増）となり、損益につきましては、増収効果及び総費用削減により901百万円のセグメント利益（前年同四半期はセグメント損失391百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては、半導体不足等による顧客における生産調整等により5,668百万円（前年同四半期比5.0%減）となり、損益につきましては、引き続き総費用削減に努めましたものの、先述の生産調整による減産により439百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント損失24百万円）となりました。

③ タイ

売上高につきましては、景気回復による受注増加により3,786百万円（前年同四半期比41.4%増）となり、損益につきましては、増収効果及び総費用削減により269百万円のセグメント利益（前年同四半期はセグメント損失47百万円）となりました。

④ ベトナム

売上高につきましては、景気回復による受注増加により662百万円（前年同四半期比23.7%増）となり、損益につきましては、増収効果及び総費用削減により129百万円のセグメント利益（前年同四半期比90.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、退職給付に係る資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ515百万円減少し、36,382百万円となりました。負債の部では、退職給付に係る負債の減少等により、647百万円減少し、15,095百万円となりました。なお、純資産の部では、為替換算調整勘定の増加等により、131百万円増加し、21,286百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2021年10月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,101,050	6,848,269
受取手形及び売掛金	3,149,392	3,183,400
商品及び製品	1,454,218	1,602,647
仕掛品	945,744	1,324,831
原材料及び貯蔵品	2,359,724	3,148,748
その他	277,532	463,416
流動資産合計	15,287,662	16,571,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,213,993	6,110,593
機械装置及び運搬具(純額)	7,273,473	6,235,368
土地	2,388,082	2,355,511
その他(純額)	961,964	1,765,626
有形固定資産合計	16,837,512	16,467,100
無形固定資産	255,405	200,151
投資その他の資産		
投資有価証券	2,717,694	2,662,049
その他	1,799,846	481,920
投資その他の資産合計	4,517,541	3,143,969
固定資産合計	21,610,460	19,811,221
資産合計	36,898,122	36,382,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,553,868	1,252,826
電子記録債務	563,709	541,862
短期借入金	4,620,000	3,210,000
1年内返済予定の長期借入金	1,246,836	1,626,948
未払法人税等	83,026	187,878
その他	2,248,343	3,506,529
流動負債合計	10,315,785	10,326,044
固定負債		
長期借入金	3,193,660	3,715,069
退職給付に係る負債	1,481,315	125,632
資産除去債務	90,844	93,576
その他	661,548	835,275
固定負債合計	5,427,367	4,769,553
負債合計	15,743,153	15,095,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	12,778,494	12,954,200
自己株式	△2,668	△2,668
株主資本合計	13,600,250	13,775,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584,109	530,057
為替換算調整勘定	981,548	1,257,053
退職給付に係る調整累計額	19,531	—
その他の包括利益累計額合計	1,585,189	1,787,111
非支配株主持分	5,969,529	5,723,871
純資産合計	21,154,969	21,286,938
負債純資産合計	36,898,122	36,382,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	18,214,962	21,075,871
売上原価	16,053,103	17,848,912
売上総利益	2,161,858	3,226,959
販売費及び一般管理費	2,552,143	2,422,747
営業利益又は営業損失(△)	△390,284	804,211
営業外収益		
受取利息	28,567	29,455
受取配当金	41,897	66,806
為替差益	3,512	—
スクラップ収入	16,193	—
受取補償金	—	39,664
その他	35,559	37,901
営業外収益合計	125,731	173,828
営業外費用		
支払利息	54,470	48,044
為替差損	—	28,286
その他	2,356	4,724
営業外費用合計	56,827	81,056
経常利益又は経常損失(△)	△321,381	896,984
特別利益		
固定資産売却益	6,184	74,283
投資有価証券売却益	268,400	—
ゴルフ会員権売却益	340	—
貸倒引当金戻入額	223	—
特別利益合計	275,148	74,283
特別損失		
固定資産売却損	2,465	—
固定資産除却損	25,234	7,965
減損損失	—	2,653
特別退職金	—	647,726
投資有価証券評価損	30,712	—
関係会社株式評価損	23,734	—
ゴルフ会員権売却損	—	1,018
特別損失合計	82,146	659,363
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△128,379	311,904
法人税等	△11,449	127,202
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116,929	184,702
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,784	△22,077
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△118,714	206,779

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116,929	184,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,318	△54,489
為替換算調整勘定	△311,561	315,025
退職給付に係る調整額	174,143	△19,911
その他の包括利益合計	10,900	240,624
四半期包括利益	△106,029	425,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,862	408,701
非支配株主に係る四半期包括利益	△79,166	16,625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、国内連結子会社の自動車販売取引の収益認識基準を登録日基準から納車日基準に変更しております。

また、従来、製造費用から控除あるいは営業外収益のスクラップ収入として計上しておりました製造の過程で生じる作業くず(金属屑)の売却収入については、顧客へ移転した財の対価として受け取るものであることから、売上高として計上することといたしました。

さらに、買戻し義務を負っている有償支給取引について、金融取引として有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について「原材料」を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が253,220千円増加、売上原価が193,890千円増加、営業利益が59,330千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,676千円増加しております。また、利益剰余金の期首残高が1,791千円減少しております。さらに、原材料及び貯蔵品が14,200千円増加し、流動資産その他が同額減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の連結財務諸表の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、2022年3月期に徐々に収束するという仮定について重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第3四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	9,036,837	5,964,937	2,677,906	535,281	18,214,962	—	18,214,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,283,709	—	150,243	240,436	2,674,389	△2,674,389	—
計	11,320,546	5,964,937	2,828,149	775,717	20,889,352	△2,674,389	18,214,962
セグメント利益又は 損失(△)	△391,825	△24,054	△47,481	67,960	△395,401	5,116	△390,284

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△395,401
セグメント間取引消去	19,178
棚卸資産の未実現利益の調整額	6,181
有形固定資産の未実現利益の調整額	△20,243
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△390,284

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	10,958,731	5,668,639	3,786,301	662,198	21,075,871	—	21,075,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,623,983	13,246	188,791	469,209	2,295,230	△2,295,230	—
計	12,582,714	5,681,885	3,975,093	1,131,408	23,371,102	△2,295,230	21,075,871
セグメント利益又は 損失(△)	901,169	△439,009	269,935	129,122	861,218	△57,006	804,211

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	861,218
セグメント間取引消去	△574
棚卸資産の未実現利益の調整額	△70,184
有形固定資産の未実現利益の調整額	13,752
四半期連結損益計算書の営業利益	804,211

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の報告セグメント「日本」の売上高が253,220千円増加し、セグメント利益は59,330千円増加しております。